金の無料化、就学援助項目の充実や18歳までの医療費の無料化を何度も要求してきました。しかし、町長は「積立金が少ない」の一点張りで実現していません。何としても実現するよう頑張っていきたいと思っています。

太田 薄井さんは、ガイドマスター会、町政研究会、八幡神社建設委員など広く活動をされていますが、そうした中で町政についてどんなことを感じてこられましたか。

薄井 自治体問題研究所の研修会などを通じて感ずることは、「町の情報公開」の問題です。北海道ニセコ町や木曽町などでは「行政は町の持っている情報を」積極的に知らせることを「町づくり条例（自治基本条例）」などで法的に定めています。

これは、より良い町づくりは住民と行政が力を合せ、英知を出し合ってこそ実現できること。そのためには、「町の情報公開を徹底させ、住民と行政との情報の共有化が前提条件として必要である」との考えに基づくものです。

当町の場合、その年の町の施策の全体像がわかる資料がないので、他の自治体と施策を比較しようとしても、良く分らないのが実態です。ニセコ町や原村では、その年に町が行う仕事を分り易い冊子にして全戸に配布し、町の情報を積極的に知らせて、住民の力を引き出しています。町には、まずこの点から改善してほしいですね。

町民の町政参加を保障するシステムや行政・議会・町民の役割を定めた「町づくり条例（自治基本条例）」を池田でも制定したいですね。

町政要求アンケート 切実な町民の声 積極的な町の対応を

太田 昨年共産党池田支部では「町政要求アンケート」を実施し、それに基づいて「2011年度町政に関する要望書」を町に提出し、これへの町の回答を池田民報紙上で報告されましたね。そのなかで、今後の町政の問題点は何か、行政に何が求められるか、お聞かせください。

服部 今回のアンケートは、大勢の方から返事をいただきました。その中には、生活に関しての切実な声が多くありました。「年金から介護保険料を引かれると生活費がわずかしか残らない」「保育料が高すぎる」「給食費を下げてほしい」「高齢者の足の確保」「上下水道料金が高い」などです。

最近、国の出費を減らす目的で出される法令が多く、その尻拭いを地方自治体の責任にゆだねる傾向があります。

今後、行政は「住民の生活を守る」という基本に立ち、町の予算は住民の生活を第一に考えるようにしなければならないと思います。また、町も国に対し国の責任を果たすよう意見を上げてほしいですね。

薄井 町の回答をみると、「子宮頸がんワクチン接種の公費助成、保育料金の値下げ、20～40歳までの健康診断（ヤング健診）の実施」の3点では、前進がみられ、良かったなあと思っています。しかし、他の分野での回答は十分であるとは思えませんでした。

今後、更に調査・研究をつみ重ね、町民の皆さんにもご協力いただいて要求実現に努めていきたいと思っています。

山本 各課の課長が回答を書いたのでしょうが、本気で要求に応えようという姿勢があまり見られません。ほとんどが「財政的理由で実施できません」という回答です。どうすれば実現できるのかを、もっと真剣に考え論議して欲しいと思います。

今の行政に欠けているのは「町民の要求に真摯に耳を傾け、解決のための努力をする」姿勢です。「こういう町にしていく」というビジョンがないため、進むべき道が定まらず、首長の気分によって動く町になりつつあります。「行政も頑張るから町民の皆さんもご一緒にやりましょう」という姿勢がなければ、町民はついてきません。行政の仕事とは何か、を真剣に考えるときだと思います。

町の役割は福祉の増進 必要なものには 予算付けを！

太田 勝山町長は、町の財政が厳しいことを前面に出して歳出を切り詰めようとしています。池田町の財政をどうみたらいいのでしょうか。

薄井 池田町の財政状況は「三位一体改革」による地方交付税の減、過去の大型公共工事の負債返還、景気後退に伴う収入減などにより厳しいことは事実です。しかし、地方債現在高も年々減らしており、すぐにも財政再建団体になるという状態ではありません。

地方自治法に規定されているように自治体の役割は「住民福祉の増進」にあります。積立金を増やすことにとらわれ、町民要求の実現に背をむけるのではなく、財政状況を勘案しながら、町民福祉や町づくりに必要なものには予算付けしていく町政運営が必要だと思います。

池田町の将来ビジョンを語る

太田 他の市町村では、池田町が見習うべきさまざまな取り組みが始まっており、それから見ると池田町はちょっと閉塞状態のような気がします。

いま必要なのは、池田町のビジョンを町民主導で明らかにし、それをみんなの力ですすめることだと思います。皆さんがお考えの池田町の将来像と、それに向かって当面何に取り組むのかお聞かせください。

山本 障がいがあっても、年老いて一人暮らしになっても、住み続けられる「福祉の町」をめざします。

病院や買い物に低料金で利用できる公共交通、地場産の食材を使い自宅まで配達される福祉弁当、低家賃の共同住居やグループホームなどの充実が必要です。介護する家族がほっと一息つけるような対応も求められます。

国の医療・介護施策に対してきちんと要望し、町民の暮らしを守ることに力を尽くす町にしていかなくてはなりません。

服部 安心して子育てできすべての子どもの成長発達を支える教育の町をめざします。

国は2013年から保育制度を公的保育から民間事業者との契約保育へ変えようとしています。利用者にとって保育料が高くなる恐れや保育環境が悪化する恐れがあります。

12月議会で質問したところ、町長は「保育環境は町の責任で守る」と断言しましたので今後注視していきたいと思います。

子どもの医療費無料化では、18歳まで無料化を要求していきます。これは、250万円の負担増で実現できます。現在県内で9町村が実施し、隣の松川村でも昨年4月から無料化になりましたので、池田でもできるはずです。

池田町の東山は6年前の台風で土砂災害を起こし、沢の崩落箇所はそのままになっています。早急に修復し中山間地に住む住民の安全を図る必要があります。また、池田町は構造線の真上にあり、震災建物倒壊予測図を作成し防災の町作りを目指します。

薄井 池田町はアルプスと田園風景の素晴らしい景観を有しています。何ものにも代えがたいこの財産を末長く保全するため、「美しい村」連合加盟にふさわしい具体的な取り組みが必要です。

また、有機農法を推進し、トンボ、ホタルなどの生物まで含めた「自然環境を守る町」、農業・商工業を振興し、景気に左右されにくい「地域循環型経済の町」、「池田の歴史と文化遺産を活かした町」、「町民が元気でいきいきと活躍する町」を目指すべきだと思います。そのためには、町民と行政とが一緒に課題に取り組む「町づくり推進委員会」などを立ち上げて町民の力を引き出すべきだと思います。いかがでしょう。

町議選に向けて がんばります！

太田 最後に、今後どのような点に力点を置いて活動をすすめたいとお考えですか。今後の抱負をお願いします。

服部 夫が福祉センターの入浴施設に行き、福祉課の方から「血圧を病院で見てもらいましたか」と声をかけられたそうです。町の健康診断で、病院で見てもらうように言われていたのに、夫は家族が何度言っても先延ばしにしていました。この後、夫はすぐに病院に行ってきました。小さな町の顔が見える良さを実感しました。

いま、国は、国保や地方税滞納徴収の広域化を進めようとしています。住民の暮らしを見ないで効率を重視するやり方でなく、きめ細かく暮らしを支援する町を目指して頑張る決意です。よろしくお願いいたします。

山本 16年間の総仕上げの気持ちで頑張ります。

第一に「介護家族者の会」の立ち上げ準備をしたいと思います。介護を担っている家族が、悩みを出し合うとともに介護保険制度を学び、解決の道をさぐる場が作れたらと思います。

私が役員をやっている女団連で「美しい村連合加盟」に伴う活動を具体化しようとしています。出来ることから一緒に取り組みたいと思います。

何より4月の選挙で薄井さんにきちんとバトンタッチできるように全力投球します。

薄井 私は自分を育ててくれた故郷「池田町」を少しでも良い町にしたい。これが私の思いの原点です。

皆さんと力を合せ、一歩でも前に進むように力を尽くします。皆さんのご支援・ご鞭撻よろしくお願いいたします。

太田 どうもありがとうございました。今後のご活躍を期待します。

農業問題シンポジウム

TPPでどうなる日本の農業

2月6日（日） 午後1時～4時 福祉会館（一丁目）

JA大北、役場、農業者、政党、消費者などからの意見発表、および質疑・討論など

現在、ファンクラブが呼びかけて、実行委員会を準備中です。